

内服薬の取り扱い

内服の抗がん薬は、できるだけ患者さんご自身が取り扱うようにしましょう。

やむを得ずご家族や介護者が取り扱う場合、直接手で触れないよう使い捨ての手袋を使用して取り扱うようにしましょう。

錠剤やカプセル剤

錠剤を砕いたり、カプセル剤の中身だけを取り出すことは、薬の作用に影響を及ぼすだけでなく、周囲への飛散リスクを高めることになりますので、避けましょう。

薬が飲み込みにくいときは、飲み方の工夫をできることがありますので、薬剤師や看護師にご相談ください。



粉薬の場合

薬の袋を開封する際にも、周囲へ飛散するリスクがありますので、こぼさないよう注意して開封しましょう。



- ご家族や介護者が服薬介助する場合は、薬を直接手で触れないよう、使い捨て手袋などを使用する。
- 服用後は、速やかに石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

この冊子は治療を受ける皆さまに少しでもお役に立てますよう作成しています。
この冊子にある情報は2022年4月1日現在の国内外のガイドライン等に基づくものです。
本著作物に関する権利はすべて日本ベクトン・ディッキンソン株式会社が保有します。
本著作物の一部またはすべてを無断で複写・複製・転載・改変または流布することを禁じます。

©2022 BD. BD and the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company.

26-120-00 2022.09 (BDJ-1435)

